

(様式第10号) (第53条、第54条の2、第55条関係)

施工状況等報告書

令和2年10月30日

長野県知事 阿部 守一 殿

住 所 東京都千代田区内幸町1丁目1番3号
氏 名 東京電力パワーグリッド株式会社
代表取締役社長 金子 禎則
〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

長野県環境影響評価条例第32条第1項の規定により、下記のとおり送付します。

記

対 象 事 業 の 名 称	飛驒信濃直流幹線新設工事業
報 告 対 象 期 間	令和二年 7月 1日から 令和二年 9月30日まで
環境の保全のための措置の状況	詳細は別紙添付資料の通り
対 象 事 業 の 実 施 状 況	今四半期は基礎工事および鉄塔組立工事は完了しており、電線の架線工事に着手し完了した。平行して緑化工事や付帯工事等を実施中。

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

環境要素	環境要因	実施位置	環境保全措置			
			種類	実施内容	実施状況（今回対象）	実施状況（前回まで）
騒音	建設機械の稼働に伴って発生する騒音	対象事業実施区域	回避	工事時間を8時～17時に制限する。	前回までの措置を引き続き実施	工事時間を8時～17時に制限し、工事を実施した。
			低減	低騒音型建設機械をできる限り採用する。	前回までの措置を引き続き実施	低騒音型建設機械をできる限り採用し、騒音発生の抑制を図った。
			低減	建設機械は日々点検整備する。	前回までの措置を引き続き実施	建設機械は日々点検整備し、建設機械の不具合による騒音発生の抑制を図った。
			低減	不要な建設機械の運転は避ける。	前回までの措置を引き続き実施	建設機械は使用時以外は稼働させず、不要な建設機械の運転は避けた。
			低減	工事区域最寄りの住宅側には仮設防音パネルを設置する。	前回までの措置を引き続き実施	工事区域最寄りの住宅側に仮設防音シートを設置し、周辺への騒音の影響を低減させた。
	資材及び機械の運搬に伴って発生する騒音	工事関係車両走行ルート	低減	工事用車両が集中しないように搬入時間の分散化に努める。	前回までの措置を引き続き実施	工事用車両が集中しないように現場管理を行い、搬入日、搬入時間の分散化に努めた。
			低減	規制速度を遵守する。 急発進、急停止を避けるなどエコドライブを推進する。	前回までの措置を引き続き実施	新規入場者教育により、規制速度を遵守するよう指導・教育を行ったほか、急発進、急停止を避けるなどエコドライブを推進するよう指導・教育を行った。
振動	建設機械の稼働に伴って発生する振動	対象事業実施区域	回避	工事時間を8時～17時に制限する。	前回までの措置を引き続き実施	工事時間を8時～17時に制限し、工事を実施した。
			低減	建設機械は日々点検整備する。	前回までの措置を引き続き実施	建設機械は日々点検整備し、建設機械の不具合による振動発生の抑制を図った。
			低減	不要な建設機械の運転は避ける。	前回までの措置を引き続き実施	建設機械は使用時以外は稼働させず、不要な建設機械の運転は避けた。
	資材及び機械の運搬に伴って発生する振動	工事関係車両走行ルート	低減	工事用車両が集中しないように搬入時間の分散化に努める。	前回までの措置を引き続き実施	工事用車両が集中しないように現場管理を行い、搬入日、搬入時間の分散化に努めた。
			低減	規制速度を遵守する。	前回までの措置を引き続き実施	新規入場者教育により、規制速度を遵守するよう指導・教育を行ったほか、急発進、急停止を避けるなどエコドライブを推進するよう指導・教育を行った。
			低減	急発進、急停止を避けるなどエコドライブを推進する。		
			回避	山間地への資機材運搬に使用するヘリコプターの運航にあたっては、休日や早朝、夜間の飛行は避けると共に、最寄りの地域住民へ十分な説明を行う。	前回までの措置を引き続き実施	山間地への資機材運搬に使用するヘリコプターの運航は、休日、早朝、夜間の飛行を避けた。ヘリコプター運航については、事前に地域住民に運航スケジュールを周知している。
植物	送電線工事に伴う土地形状変更、樹木の伐採による影響	対象事業実施区域	回避	対象事業実施区域内に生育する注目すべき種の生育地について、モノレールルート等の事業計画の変更を検討し、可能なものについては消失を回避する。	該当なし（環境保全措置は完了）	対象事業実施区域内に生育する注目すべき種のうち、事業計画の変更により回避が困難な個体について、生育に適した環境へ移植を行った。
			低減	対象事業実施区域内に生育する注目すべき種のうち、上記の回避が困難な個体については、生育に適した環境へ移植等を行うことで種の保全を図る。	該当なし（環境保全措置は完了）	
			低減	大木等の植物体が大きく移植が困難な種については、挿し木による種の保全を検討する。	該当なし（環境保全措置は完了）	植物体が大きく移植が困難であったキョウマルシャクナゲについて、挿し木等の手法で育苗を行った後、生育に適した環境へ植え付けを行った。育苗には、挿し木・接ぎ木・伏せ取り木・高取り木といった、可能な限り複数の手法を用いた。また、乾燥低温貯蔵していた種子を播種した。
			低減	1年草については、種子を採取し、播種による種の保全を検討する。	該当なし（環境保全措置は完了）	1年草については、現地で種をつけた個体を、埋土種子が存在すると思われる表土ごと移植した。
			低減	対象事業実施区域近辺に生育する注目すべき種のうち、生育地が隣接することで、樹木の伐採等により光環境の変化の程度が大きい個体については、林縁部に遮光ネットを設置するなど光環境の改善を図る。	該当なし（前回までと同様に間接的影響が生じていなかったため）	隣接する工事区域の樹木伐採の幅が狭く、周辺樹林の被覆により光環境の変化が認められなかったことから、間接的影響は生じていなかった。
			低減	樹木の伐採等により現状を変更した区域のうち、鉄塔敷以外の区域については、現存植生の復元を目指した緑化を行う。樹種は伐採した樹木の中から代表的な種を選定し、地権者の了解を得た上で植樹する。	前回までの措置を引き続き実施	鉄塔敷以外の区域について、現存植生の復元を目指した緑化を行った。
			低減	工事関係者及び作業員に対して、対象事業実施区域外への不用意な立ち入りを行わないよう指導する。	該当なし（境保全措置は完了）	対象事業実施区域近辺の注目すべき種の生育地について、生育地の保護としてマーキングボールの設置を行い、作業員に周知した。
			低減	対象事業実施区域近辺の注目すべき種の生育地について、ロープで囲う又は注意喚起の看板を設置し、生育地を保護するとともに、作業員に周知する。		
動物・生態系	工事による影響	クマタカの営巣中心域に含まれる計画鉄塔	回避	繁殖期にあたる1月～8月の期間、ほぼ全面的に施工を制限する。	原則として、繁殖期にあたる1月～8月の期間、ほぼ全面的に施工を制限したが、一部の鉄塔については、クマタカの忌避行動の有無の確認調査を実施した上で、7月に工事を実施した。	営巣中心域に含まれる計画鉄塔について、全面的に施工を制限した。なお、猛禽類に係る環境保全措置については、有識者と検討を重ね実施している（以下の環境保全措置も同様）。
			低減	一部工程の調整が不可能な鉄塔については、影響の少ない工種（モノレール設置等）とし、繁殖期の後半（8月）に、低騒音型機械を使用して作業を行う。	該当なし	調査の結果、非繁殖年又は繁殖失敗が確認されたため、施工制限期間を短縮し、7月から工事を実施した。（1月～3月は施工期限期間外であるため、該当なし）

環境要素	環境要因	実施位置	環境保全措置			
			種類	実施内容	実施状況（今回対象）	実施状況（前回まで）
動物・生態系	工事による影響	クマタカの高利用域に含まれる計画鉄塔	回避	影響が大きいと考えられるヘリコプター運搬は、繁殖期にあたる1月～8月の期間は避け、9月からの運搬とする。	高利用域に含まれる計画鉄塔について、ヘリコプター運搬を制限したが、一部の鉄塔については、クマタカの忌避行動の有無の確認調査を実施した上で、7月にヘリコプター運搬を実施した。	高利用域に含まれる計画鉄塔について、1月～8月の期間、ヘリコプター運搬を制限した。
			低減	ヘリコプター運搬に代わる運搬方法(車両運搬・モノレール運搬等)を検討して実施する。	ヘリコプター運搬としていた一部の計画鉄塔について、より低騒音であるドローン運搬に変更し実施した。	ヘリコプター運搬としていた一部の計画鉄塔について、モノレールを設置し、併用運搬とした。
			回避	樹木の伐採時期を調整し、繁殖期にあたる1月～8月の期間を避けて行う。	該当なし（環境保全措置は完了）	樹木の伐採は、繁殖期にあたる1月～8月の期間を避けて行った。
			低減	建設機械は低騒音型機械を使用し、施工方法や工程を十分に検討し、建設機械の集中稼働を避ける。	前回までの措置を引き続き実施	「騒音」、「振動」の項目に準じて実施した。
		ヘリポート、ヘリコプター飛行コース	回避	営巣中心域及び高利用域に近い既設のヘリポートは使用しないこととし、クマタカへの影響の少ない箇所に新規ヘリポートを選定する。	該当なし（環境保全措置は完了）	営巣中心域及び高利用域に近い既設のヘリポートは使用せず、新規にヘリポートを設定した。
			低減	繁殖期にあたる1月～8月の期間中のヘリコプター飛行コースは、営巣中心域及び高利用域に入らないよう別途飛行コースを定め、注意して飛行する。	前回までの措置を引き続き実施	営巣中心域及び高利用域に入らないよう、ヘリコプターの飛行コースを定めた。
		オオタカの営巣中心域に含まれる計画鉄塔	回避	繁殖期にあたる2月～7月の期間、全面的に施工を制限する。	営巣中心域に含まれる計画鉄塔について、全面的に施工を制限した。	営巣中心域に含まれる計画鉄塔について、2月～7月の期間、全面的に施工を制限した。
		オオタカの高利用域に含まれる計画鉄塔	低減	建設機械は低騒音型機械を使用し、施工方法や工程を十分に検討し、建設機械の集中稼働を避ける。	前回までの措置を引き続き実施	「騒音」、「振動」の項目に準じて実施した。
		対象事業実施区域周辺	—	対象事業実施区域周辺に生息する希少猛禽類の内、繁殖の可能性が考えられるものの営巣地が特定されていないつがいを対象に追加調査を実施する。	前年に営巣地が特定されたが、引き続き営巣場所調査を実施し、新たな巣を特定した。	営巣地が特定されていないつがいを対象に、追加で営巣場所調査を実施した。
				営巣地の特定後は、追加で必要な環境保全措置について検討する。	該当なし（すでに特定されているハチクマの営巣地2箇所について、新たな巣で繁殖が確認されたが、いずれも対象事業実施区域から500m以上離れており、「猛禽類保護の進め方(改訂版)」に参考事例として示されている繁殖期に妨害すべきでない400～500mの範囲外であったことから、追加の環境保全措置の必要はないと判断した。）	営巣地が特定されたつがいを対象に、行動圏の内部構造の再解析を行い、追加で必要な環境保全措置を検討した。
	上記調査の中で、対象としていない希少猛禽類の営巣地が確認された場合は、追加で必要な調査及び環境保全措置について検討する。			該当なし（新たに特定された営巣地はない）	該当なし	
	奈川のゴマシジミ生息地	低減	工事車両の運搬路のうち、奈川のゴマシジミ生息地の林道については、徐行区間と定め、ゴマシジミの忌避を抑制する。	前回までの措置を引き続き実施	奈川のゴマシジミ生息地の林道を徐行区間と定め、ゴマシジミの忌避を抑制した。	
		低減	工事関係者及び作業員に対して、対象事業実施区域外への不用意な立ち入りを行わないよう指導し、工事車両の空ぶかしや急発進等による騒音の発生を抑制するよう指導する。	前回までの措置を引き続き実施	「騒音」、「振動」の項目に準じて実施した。	
		低減	対象事業の実施により消失するワレモコウについて、生育に適した環境に移植を行い、ゴマシジミ生息環境の保全を図る。移植は花芽が出る前の5月頃に行う。	該当なし（環境保全措置は完了）	対象事業実施区域内で確認されたワレモコウ約500株及びハラクシケアリの巣6箇所について、移植を実施した。移植時期は有識者への聞き取りから、ゴマシジミとハラクシケアリの共生関係が最も希薄な8月下旬～9月上旬とした。	
		低減	ワレモコウの移植に際しては事前にアリの生息調査を行い、できる限りハラクシケアリの生息地付近を移植地とする。	該当なし（環境保全措置は完了）	事前にハラクシケアリの調査を実施し、既存のハラクシケアリの巣が存在する付近を移植地とした。また、地権者との協議から草の刈り取り頻度が低い場所を選定した。	
	白樺峠から概ね5kmの範囲に計画する鉄塔	回避	影響が大きいと考えられる基礎工事、組立工事、ヘリコプター運搬は、渡り期間にあたる9月～11月中旬の期間を避けた工事工程とする。	該当なし（環境保全措置は完了）	平成29年度は、9月上旬～11月上旬の期間、全面的に施工を制限した。平成30年度からは、有識者と協議の上、工事制限期間を9月上旬～10月末とし、平成31年度に工事が完了した。	
		回避	その他の工種についても、可能な限り9月～11月中旬の期間を避けた工事工程とする。			
		低減	一部工程の調整が不可能な鉄塔については、設備撤去や道路整備等の地上部での作業とし、低騒音型機械を使用して作業を行う。			
	対象事業実施区域	低減	樹木の伐採等により現状を変更した区域の内、鉄塔敷以外の区域については、現存植生の復元を目指した緑化を行う。樹種は伐採した樹木の中から代表的な種を選定し、地権者の了解を得た上で植樹する。	鉄塔敷以外の区域について、現存植生の復元を目指した緑化を行った。	該当なし	

注：環境保全措置の種類

- ・回避：全部又は一部を行わないこと等により、影響を回避する。
- ・低減：実施規模若しくは程度を制限すること又は発生した影響を何らかの手段で軽減若しくは消失させることにより、影響を低減する。
- ・代償：代用的な資源若しくは環境で置き換えたり、又は提供すること等により、影響を代償する。

植物・動物・生態系の事後調査結果

期間：令和2年7月1日～令和2年9月30日

環境要素	保全対象種	調査内容	事後調査結果	別紙写真番号
植物	ササユリ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	環境保全措置（移植及びマーキングポールの設置）を実施した8個体について、7月19日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・6個体の生育を確認し、3個体については結実がみられたほか、新たな実生3個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。	写真ササ -1,2
			環境保全措置（移植及びマーキングポールの設置）を実施した14個体について、7月20日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・7個体の生育を確認したほか、新たな実生8個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。	
			環境保全措置（移植）を実施した34個体について、7月21日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・20個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。	
			環境保全措置（移植）を実施した3個体について、7月23日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・生育環境に変化はみられなかったが、個体は確認されなかった。	
			環境保全措置（移植）を実施した7個体について、7月24日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・2個体の生育を確認した。 ・生育環境に下草が繁茂していたため、環境整備として草刈りを実施した。	
	ギンラン	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	植物が最も活性化する夏季の生育状況を把握するため、環境保全措置（移植）を実施した6個体について、7月21日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・生育環境に変化はみられなかったが、個体は確認されなかった。	写真ギン -1,2
イチヨウラン	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	植物が最も活性化する夏季の生育状況を把握するため、環境保全措置（移植）を実施した49個体について、8月20日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・25個体の生育を確認した。 ・生育環境に下草が繁茂していたため、環境整備として草刈りを実施した。 植物が最も活性化する夏季の生育状況を把握するため、環境保全措置（移植）を実施した11個体について、8月21日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・7個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。	写真イチ -1,2	

植物	アリドオシラン	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	<p>環境保全措置（移植）を実施した 22 個体について、7 月 22 日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・22 個体の生育を確認し、13 個体については開花がみられたほか、新たに 9 個体の生育を確認した。 ・生育環境に下草が繁茂していたため、環境整備として草刈りを実施した。 	写真アリ -1,2
	オオバノトンボソウ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	<p>環境保全措置（移植及びマーキングポールの設置）を実施した 20 個体について、7 月 20 日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9 個体の生育を確認し、3 個体については開花がみられた。 ・生育環境に変化はみられなかった。 <p>環境保全措置（移植）を実施した 1 個体について、7 月 23 日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生育環境に変化はみられなかったが、個体は確認されなかった。 	写真バノ -1,2
	ナガミノツルキケマン	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	<p>植物が最も活性化する夏季の生育状況を把握するため、環境保全措置（マーキングポールの設置）を実施した 10 個体について、7 月 23 日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生育環境に変化はみられなかったが、個体は確認されなかった。 	写真ナガ -1,2
	ヤマシヤクヤク	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	<p>植物が最も活性化する夏季の生育状況を把握するため、環境保全措置（移植）を実施した 8 個体について、8 月 21 日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8 個体全ての生育を確認したほか、実生の 7 個体の生育を確認した。 ・生育環境に下草が繁茂していたため、環境整備として草刈りを実施した。 	写真シャ -1,2
	ボタン属の一種	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	<p>植物が最も活性化する夏季の生育状況を把握するため、環境保全措置（マーキングポールの設置）を実施した 1 個体について、7 月 24 日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 個体全ての生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。 	—

植物	サナギイチゴ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	植物が最も活性化する夏季の生育状況を把握するため、環境保全措置（移植）を実施した130個体について、7月21日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・62個体の生育を確認した。 ・生育環境に下草が繁茂していたため、環境整備として草刈りを実施した。 	写真サナ -1,2
	オオヤマカタバミ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	植物が最も活性化する夏季の生育状況を把握するため、環境保全措置（マーキングポールの設置）を実施した2個体について、7月24日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・2個体全ての生育を確認したほか、新たに2個体の生育が確認された。 ・生育環境に変化はみられなかった。 	写真カタ -1,2
	イワアカザ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	環境保全措置（マーキングポールの設置）を実施した14個体について、7月24日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・生育環境に変化はみられなかったが、個体は確認されなかった。 <p>本種は発芽から結実までを1年で完結し、その後枯死する1年草であるため、移植個体が散布した種子からの発芽個体の有無が調査対象となっている。移植地周辺に飛散した種子が、本年度は休眠している可能性があり、来年度の事後調査で発芽個体を確認される可能性はある。</p>	写真イワ -1,2
	キョウマルシヤクナゲ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	植物が最も活性化する夏季の生育状況を把握するため、環境保全措置（移植）を実施した74個体について、8月20日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・54個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。 ・播種を実施した箇所での発芽は確認されなかった。 	写真キョ -1,2
	ダイセンミツバツツジ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	植物が最も活性化する夏季の生育状況を把握するため、環境保全措置（移植）を実施した10個体について、7月20日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・10個体全ての生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。 	写真ダイ -1,2

植物	センブリ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	植物が最も活性化する夏季の生育状況を把握するため、環境保全措置（移植）を実施した2個体について、7月23日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・生育環境に変化はみられなかったが、移植した2個体の種子からの発芽個体は確認されなかった。	写真セン -1,2
	テングノコヅチ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	環境保全措置（移植及びマーキングポールの設置）を実施した16個体について、7月22日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・15個体の生育を確認し、14個体については開花がみられたほか、新たに20個体の生育を確認した。 ・生育環境に下草が繁茂していたため、環境整備として草刈りを実施した。	写真テン -1,2
	フトボナギナタコウジュ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	植物が最も活性化する夏季の生育状況を把握するため、環境保全措置（移植）を実施した29個体について、7月22日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・生育環境に変化はみられなかったが、移植した29個体の種子からの発芽個体は確認されなかった。	写真フト -1,2
			植物が最も活性化する夏季の生育状況を把握するため、環境保全措置（移植）を実施した15個体について、8月20日に生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・生育環境に変化はみられなかったが、移植した15個体の種子からの発芽個体は確認されなかった。	
	鹿害（調査対象）	ニホンジカの侵入確認調査	6月19日～9月17日の間、鉄塔8箇所センサーカメラによるニホンジカの侵入確認調査を実施した。 ・鉄塔8箇所のうち2箇所で、ニホンジカが撮影された。 ・ニホンジカの確認は、いずれも短期間であり、最大91日間の撮影期間で、最も多い箇所で6日、最も少ない箇所では2日の撮影頻度であった。	写真鹿害 -1
7月19日、22日、23日、8月16日、17日、9月17日、18日に鉄塔8箇所で、植生状況の変化や鹿害の有無の確認調査を実施した。 ・一部の地点では新たな群落が出現していたものの、7月～9月にかけて、植生状況の変化は少なかった。 ・5箇所でニホンジカあるいはニホンカモシカによる食痕が認められた。			写真鹿害 -2～5	

動物・生態系	A つがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	7月2日に繁殖状況を把握するための観察を実施した。 ・繁殖は継続しており、巣内で雛1個体が確認された。	写真クマA-1
			7月17日の他項目調査の際、補足的に繁殖状況を把握するための観察を実施した。 ・幼鳥の枝移りが確認され、繁殖に成功した。	—
			8月26～28日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計11回出現し、つがいが確認されたほか、営巣地周辺では幼鳥のとまりや飛翔が頻繁に確認された。	写真クマA-2～4
	D つがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	8月29～31日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計16回出現し、営巣地周辺でつがいによる誇示飛翔が確認された。	写真クマD-1,2
	E つがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	7月2日に繁殖状況を把握するための観察を実施した。 ・繁殖は継続しており、巣内で雛1個体が確認された。	写真クマE-1
			7月17日の他項目調査の際、補足的に繁殖状況を把握するための観察を実施した。 ・幼鳥の枝移りが確認され、繁殖に成功した。	写真クマE-2
			8月29～31日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計12回出現し、つがいによる誇示飛翔が確認されたほか、営巣地周辺で幼鳥の飛翔が確認された。	写真クマE-3～5
	F つがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	8月29～31日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計18回出現し、営巣地周辺でつがいによる誇示飛翔が確認された。	写真クマF-1,2
	G つがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	7月15日に架線工事を実施するため、行動圏調査を実施しクマタカの忌避行動の有無の確認を行った。 ・クマタカは確認されなかった。	—
			7月17日に繁殖状況を把握するための観察を実施した。 ・繁殖は継続しており、巣内で雛1個体が確認された。	写真クマG-1
			8月26～28日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計12回出現し、つがいの飛翔が確認されたほか、営巣地周辺では幼鳥の鳴き声が確認され、繁殖に成功した。	写真クマG-2,3

動物・生態系	Hつがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	7月13, 20日に架線工事を実施するため、定点調査を実施しクマタカの忌避行動の有無の確認を行った。 ・1回のみ出現し、忌避行動は確認されなかった。	—
			7月16日に繁殖状況を把握するための観察を実施した。 ・強風などによる自然的な要因により架巢していた枝が折れ、繁殖巣が地面に落下していた。巣立ち時期より前に巣が落下していることから、雛が死亡し繁殖は失敗したと判断した。	写真クマH-1
			8月26~28日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・3回のみ出現であり、うち2回も侵入個体(若鳥)であった。	—
	Aつがい オオタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	7月16~17日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・オオタカは確認されなかった。	—
動物	Bつがい オオタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	7月3~4日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・オオタカは確認されなかった。 ・オオタカの営巣地でハチクマの新たな巣を確認し、繁殖を行っていることを確認した。(詳細は、ハチクマB地区の項に記載した。)	—
	Dつがい オオタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	7月1, 4日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計9回出現したが、いずれも隣接する別つがいと推定された。 <参考>別つがいのオオタカ確認状況 ・北側に隣接するCつがいは繁殖に成功し、少なくとも2個体の幼鳥が巣立った。 ・南側に隣接するEつがいは繁殖に成功し、少なくとも1個体の幼鳥が巣立った。	写真オオD-1~3
動物	A地区 ハチクマ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	7月1~2日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・他項目調査も含めて合計9回出現し、複数のオス・メスが広範囲に確認され、他種への攻撃行動や誇示飛翔が確認された。	写真ハチA-1
			8月14~15日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・他項目調査も含めて合計9回出現し、複数のオス・メスが確認された。誇示飛翔や餌運搬が確認されたが、いずれも南東側遠方であり、遠方へと消失した。	写真ハチA-2,3
	B地区 ハチクマ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	7月3~4日のオオタカBつがいの調査の中で確認調査を実施した。 ・合計14回出現した。本地区のつがいのほか、別地域のつがいと考えられるオス・メスが確認され、誇示飛翔やとまりが確認された。 ・オオタカBつがいの営巣地で、本地区のつがいの新たな巣を特定し、抱卵行動を確認した。 ・7月17日の他項目調査の際に再確認したところ、巣内に雛は確認されず、繁殖は失敗していた。	写真ハチB-1~3

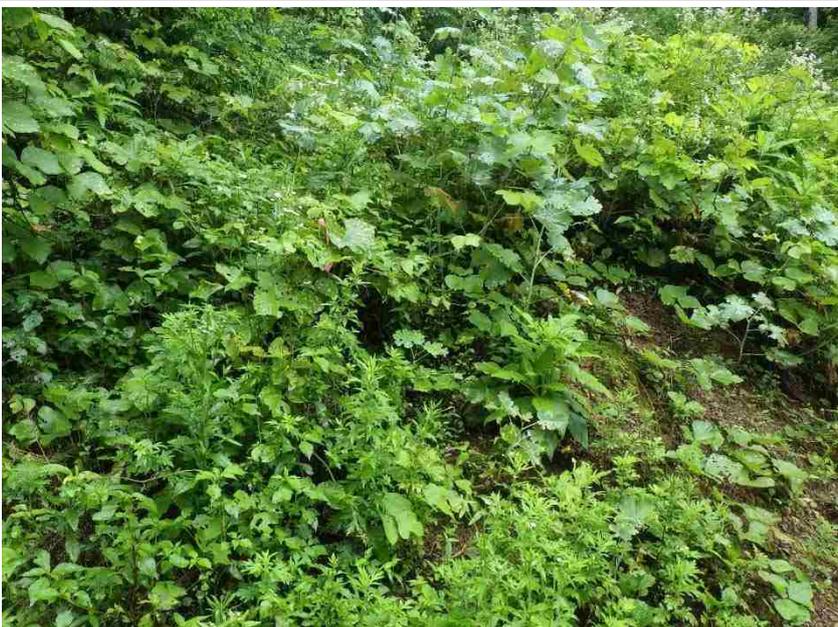
動物	C地区 ハチクマ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	<p>7月16～17日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 合計31回出現し、複数のオス・メスが広範囲に確認されたほか、南側遠方の営巣地方向への餌運搬を含め、複数方向の餌運搬が確認されたが、東側の遠方や尾根を越えた方向へ消失しており、運搬場所は不明であった。 南西側遠方の営巣地では繁殖が継続していた。 南側遠方の既知の巣では、繁殖は行われていなかった。 	写真ハチC-1～4
			<p>8月14～15日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 合計17回出現し、複数のオス・メスが広範囲に確認し、誇示飛翔が確認された。 7月に餌運搬が確認された尾根周辺を踏査したが、新たな巣は確認されなかった。 南西側遠方の営巣地では幼鳥は確認されなかったが、巣及び直下に羽毛や糞などの新しい痕跡があり、すでに幼鳥が巣立っているものと考えられた。 南側遠方の営巣地では新たな巣が確認された。枝移りする幼鳥2個体が確認され、繁殖に成功した。 	写真ハチC-5～7
	ツミ	繁殖を示唆する行動等の確認	<p>上記、クマタカ・オオタカ・ハチクマの調査の中で確認調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 合計4回出現した。繁殖に係る行動として営巣地方向や他所への餌運搬が確認された。 餌運搬の消失方向周辺の樹林を踏査したが、新たな営巣地は確認されなかった。 既知のツミ営巣地では繁殖に成功し、少なくとも1個体の幼鳥が巣立った。 	写真ツミ-1
	ハイタカ	繁殖を示唆する行動等の確認	<p>上記、クマタカ・オオタカ・ハチクマの調査の中で確認調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 合計3回出現した。幼鳥が確認されたが、高空を飛翔しており、分散し移動途中の個体であると考えられた。 	—
動物・生態系	本州中部亜種 ゴマシジミ	個体数の確認	<p>7月30～31日及び8月13～14日にゴマシジミの個体数及びワレモコウの株数を確認する調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴマシジミは、対象事業実施区域周辺のG1では確認されなかったが、G3では8月に1個体が確認された（但し、確認位置は調査範囲内ではなく、隣接した環境保全措置の実施箇所）。また、対象区のG4では8月に9個体が確認された。 ワレモコウは、対象事業実施区域周辺ではG1で7株、G3で348株が確認され、対象区のG4では223株が確認された。 	—
		移植個体の生育状況	<p>環境保全措置（ワレモコウ及びハラクシケアリの巣の移植）の実施箇所において、7月30日及び8月13日に移植したワレモコウの生育状況を把握する調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 花芽の出た株は55株であり、株の状態も良好であった。 ゴマシジミ1個体が移植したワレモコウへ飛来し、産卵を行った。 	写真ゴマ-1～4
動物	本州中部亜種 ヒヨウモンチョウ	個体数の確認	<p>7月30～31日及び8月13～14日にヒヨウモンチョウの個体数を確認する調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象事業実施区域周辺のG1では確認されなかったが、G3では7月に2個体、8月に3個体が確認され、対象区のG4では7月に1個体、8月に2個体が確認された。 	写真ヒョ-1

写 真 帳

	保 全 対象種	ササユリ
	写 真 番 号	ササー-1
	撮影日	令和2年7月19日
	移植個体の生育状況	
	保 全 対象種	ササユリ
	写 真 番 号	ササー-2
	撮影日	令和2年7月19日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-1
	撮影日	令和2年7月21日
	移植個体の生育状況	

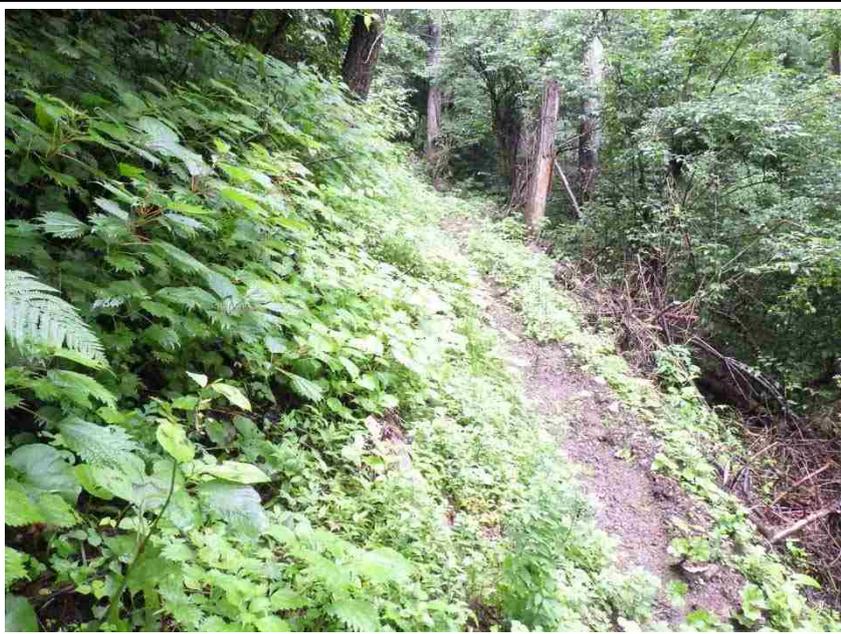
	保 全 対象種	ギンラン
	写 真 番 号	ギン-2
	撮影日	令和2年7月21日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	イチヨウラン
	写 真 番 号	イチ-1
	撮影日	令和2年8月20日
	移植個体の生育状況	
	保 全 対象種	イチヨウラン
	写 真 番 号	イチ-2
	撮影日	令和2年8月20日
	生育環境の状況	

	保 全 対象種	アリドオシラン
	写 真 番 号	アリー-1
	撮影日	令和2年7月22日
	移植個体の生育状況	
	保 全 対象種	アリドオシラン
	写 真 番 号	アリー-2
	撮影日	令和2年7月22日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	オオバノトンボソウ
	写 真 番 号	バノー-1
	撮影日	令和2年7月20日
	マーキング個体の生育状況	

	保 全 対象種	オオバノトンボソウ
	写 真 番 号	バノー2
	撮影日	令和2年7月20日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	ナガミノツルキケマン
	写 真 番 号	ナガー1
	撮影日	令和2年7月23日
	マーキング個体の生育状況	
	保 全 対象種	ナガミノツルキケマン
	写 真 番 号	ナガー2
	撮影日	令和2年7月23日
	生育環境の状況	

	保 全 対象種	ヤマシャクヤク
	写 真 番 号	シャ-1
	撮影日	令和2年8月21日
	移植個体の生育状況	
	保 全 対象種	ヤマシャクヤク
	写 真 番 号	シャ-2
	撮影日	令和2年8月21日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	サナギイチゴ
	写 真 番 号	サナ-1
	撮影日	令和2年7月21日
	移植個体の生育状況	

	保 全 対象種	サナギイチゴ
	写 真 番 号	サナー2
	撮影日	令和2年7月21日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	オオヤマカタバミ
	写 真 番 号	カター1
	撮影日	令和2年7月24日
	マーキング個体の生育状況	
	保 全 対象種	オオヤマカタバミ
	写 真 番 号	カター2
	撮影日	令和2年7月24日
	移植個体の生育状況	

	保 全 対象種	イワアカザ
	写 真 番 号	イワ-1
	撮影日	令和2年7月24日
マーキング個体の生育状況		
	保 全 対象種	イワアカザ
	写 真 番 号	イワ-2
	撮影日	令和2年7月24日
生育環境の状況		
	保 全 対象種	キョウマルシヤクナゲ
	写 真 番 号	キョ-1
	撮影日	令和2年8月20日
移植個体の生育状況		

	保 全 対象種	キョウマルシヤクナゲ
	写 真 番 号	キョー2
	撮影日	令和2年8月20日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	ダイセンミツバツツジ
	写 真 番 号	ダイー1
	撮影日	令和2年7月20日
	移植個体の生育状況	
	保 全 対象種	ダイセンミツバツツジ
	写 真 番 号	ダイー2
	撮影日	令和2年7月20日
	移植個体の生育状況	

	保 全 対象種	センブリ
	写 真 番 号	セン-1
	撮影日	令和2年7月23日
	移植個体の生育状況	
	保 全 対象種	センブリ
	写 真 番 号	セン-2
	撮影日	令和2年7月23日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	テングノコヅチ
	写 真 番 号	テン-1
	撮影日	令和2年7月22日
	移植個体の生育状況	

	保 全 対象種	テングノコヅチ
	写 真 番 号	テンー2
	撮影日	令和2年7月22日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	フトボナギナタコウジュ
	写 真 番 号	フトー1
	撮影日	令和2年7月22日
	移植個体の生育状況	
	保 全 対象種	フトボナギナタコウジュ
	写 真 番 号	フトー2
	撮影日	令和2年7月22日
	移植個体の生育状況	

	保 全 対象種	鹿害（調査対象）
	写 真 番 号	鹿害-1
	撮影日	令和2年9月2日
	ニホンジカの確認状況	
	保 全 対象種	鹿害（調査対象）
	写 真 番 号	鹿害-2
	撮影日	令和2年9月18日
	ニホンジカもしくはニホンカモシカ の食痕	
	保 全 対象種	鹿害（調査対象）
	写 真 番 号	鹿害-3
	撮影日	令和2年7月19日
	鉄塔敷地内の植生状況（7月）	

	保 全 対象種	鹿害（調査対象）
	写 真 番 号	鹿害-4
	撮影日	令和2年8月16日
	鉄塔敷地内の植生状況（8月）	
	保 全 対象種	鹿害（調査対象）
	写 真 番 号	鹿害-5
	撮影日	令和2年9月18日
	鉄塔敷地内の植生状況（9月）	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマA-1
	撮影日	令和2年7月2日
	クマタカAつがいの巣と雛	

	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマA-2
	撮影日	令和2年8月27日
	クマタカAつがいのメス	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマA-3
	撮影日	令和2年8月27日
	クマタカAつがいのオス	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマA-4
	撮影日	令和2年8月27日
	クマタカAつがいの巣立ち幼鳥	

	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマD-1
	撮影日	令和2年8月31日
	クマタカDつがいのメス	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマD-2
	撮影日	令和2年8月30日
	クマタカDつがいのオス	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマE-1
	撮影日	令和2年7月2日
	クマタカEつがいの雛	

	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマE-2
	撮影日	令和2年7月17日
	クマタカEつがいの巣立ち幼鳥	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマE-3
	撮影日	令和2年8月30日
	クマタカEつがいのメス	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマE-4
	撮影日	令和2年8月31日
	クマタカEつがいのオス	

	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマE-5
	撮影日	令和2年8月31日
	クマタカEつがいの巣立ち幼鳥	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマF-1
	撮影日	令和2年8月31日
	クマタカFつがいのメス	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマF-2
	撮影日	令和2年8月31日
	クマタカFつがいのオス	

	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマG-1
	撮影日	令和2年7月17日
クマタカGつがいの雛		
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマG-2
	撮影日	令和2年8月27日
クマタカGつがいのメス		
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマG-3
	撮影日	令和2年8月28日
クマタカGつがいのオス		

	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマH-1
	撮影日	令和2年7月16日
枝が折れて落下したクマタカHつがいの巣		
	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオD-1
	撮影日	令和2年7月2日
隣接するオオタカCつがいの巣立ち幼鳥2個体		
	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオD-2
	撮影日	令和2年7月2日
オオタカCつがいのメス		

	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオD-3
	撮影日	令和2年7月2日
隣接するオオタカEつがいの巣及び雛		
	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチA-1
	撮影日	令和2年7月1日
ハチクマA地区で確認されたメス		
	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチA-2
	撮影日	令和2年8月14日
ハチクマA地区で確認されたメス		

	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチA-3
	撮影日	令和2年8月14日
	ハチクマA地区で確認されたオス	
	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチB-1
	撮影日	令和2年7月2日
	ハチクマB地区の新たな巣とメス 抱卵行動を確認した	
	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチB-2
	撮影日	令和2年7月3日
	ハチクマB地区で確認されたオス	

	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチB-3
	撮影日	令和2年7月17日
	ハチクマB地区の巣 巣内に雛は確認されず、繁殖は失敗した	
	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチC-1
	撮影日	令和2年7月16日
	ハチクマC地区で確認されたメス	
	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチC-2
	撮影日	令和2年7月16日
	ハチクマC地区で確認されたオス	

	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチC-3
	撮影日	令和2年7月16日
	<p>南西側遠方に位置するハチクマC地区の既知の巣</p> <p>巣内からオスが飛び出し、抱卵もしくは抱雛が行われていた</p>	
	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチC-4
	撮影日	令和2年7月16日
	<p>南側遠方に位置するハチクマC地区の既知の巣</p> <p>繁殖は行われていなかった</p>	
	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチC-5
	撮影日	令和2年8月15日
	<p>ハチクマC地区で確認されたメス</p>	

	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチC-6
	撮影日	令和2年8月14日
	南西側遠方に位置するハチクマC地区の既知の巣 羽毛などの痕跡が付着しており、すでに幼鳥が巣立ったと考えられた	
	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチC-7
	撮影日	令和2年8月14日
	南側遠方に位置するハチクマC地区の新たな巣と巣立ち幼鳥 2個体が巣立っていた	
	保 全 対象種	ツミ
	写 真 番 号	ツミ-1
	撮影日	令和2年7月1日
	ツミの巣と雛	

	保 全 対象種	ゴマシジミ本州中部亜種
	写 真 番 号	ゴマー1
	撮影日	令和2年8月13日
	環境保全措置の実施箇所の状況	
	保 全 対象種	ゴマシジミ本州中部亜種
	写 真 番 号	ゴマー2
	撮影日	令和2年8月13日
	ワレモコウの生育状況	
	保 全 対象種	ゴマシジミ本州中部亜種
	写 真 番 号	ゴマー3
	撮影日	令和2年8月13日
	環境保全措置の実施箇所で確認されたゴマシジミ本州中部亜種	

	保 全 対象種	ゴマシジミ本州中部亜種
	写 真 番 号	ゴマー4
	撮影日	令和2年8月13日
	確認されたゴマシジミ本州中部亜種の産卵行動	
	保 全 対象種	ヒョウモンチョウ 本州中部亜種
	写 真 番 号	ヒョー1
	撮影日	令和2年7月30日
	確認されたヒョウモンチョウ本州中部亜種	

施工状況等報告書添付資料「対象事業の実施状況一覧表」

1. 飛騨信濃直流幹線新設工事スケジュール

区分	平成28年度				平成29年度				平成30年度				令和元年度				令和2年度				令和3年度																						
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
環境影響評価 手続	全体概要	準備書手続き				評価書手続き				環境保全対策・事後調査																																	
	準備書 評価書	★告知・縦覧				★知事意見				★告知・縦覧																																	
	施工状況報告書					△				△				△				△				△				△				△				△									
	事後調査報告書									▲				▲								▲				▲																	
工事工程	7・8工区					伐採・道路・仮設工事				基礎工事				組立工事				架線工事				仮設撤去・付帯工事																					
						伐採・道路・仮設工事				基礎工事				組立工事				架線工事				仮設撤去・付帯工事																					
	9工区					伐採・道路・仮設工事				基礎工事				組立工事				架線工事				仮設撤去・付帯工事																					
						伐採・道路・仮設工事				基礎工事				組立工事				架線工事				仮設撤去・付帯工事																					

2. 対象事業の実施状況一覧

年 度	平成29年度				平成30年度			
	第1回報告 報告対象期 4月～6月	第2回報告 報告対象期 7月～9月	第3回報告 報告対象期 10月～12月	第4回報告 報告対象期 1月～3月	第5回報告 報告対象期 4月～6月	第6回報告 報告対象期 7月～9月	第7回報告 報告対象期 10月～12月	第8回報告 報告対象期 1月～3月
実施状況	平成29年6月12日、伐採工事に着手した。同日付で「対象事業着手報告書」を県に提出した。 [工事状況] ・7・8工区 工事中 2基 ・9工区 工事中 0基	鉄塔敷地及び工事用地内の伐採工事及び仮設工事、資機材運搬のための道路工事及びモノレールの仮設工事を実施中である。 [工事状況] ・7・8工区 工事中 12基 ・9工区 工事中 8基	鉄塔敷地及び工事用地内の伐採工事及び仮設工事、資機材運搬のための道路工事及びモノレールの仮設工事を実施中であり、10月より基礎工事を開始した。 [工事状況] ・7・8工区 工事中 17基 ・9工区 工事中 12基	工事は1月より冬季中断していたが、9工区の一部で3月に新信濃変電所構内の基礎工事・組立工事(No.197)を実施した。また、3月中旬より除雪を開始し、4月上旬から工事を再開している。 [工事状況] ・7・8工区 冬季中断 ・9工区 工事中 1基	4月上旬より工事再開。主な工事内容は、工事用地内の伐採工事、仮設工事、資機材運搬のための道路工事等の準備工事。完了した箇所については逐次基礎工事に着手。一部鉄塔(No.197)では鉄塔組立工事が完了した。 [工事状況] ・7・8工区 工事中 27基 ・9工区 工事中 11基	今四半期は基礎工事を中心に実施。完了した箇所は鉄塔組立工事に着手。9月より白樺峠近傍箇所については工事制限を実施。制限は10月末まで。 [工事状況] ・7・8工区 工事中 40基 ・9工区 工事中 20基	基礎工事は全体(73基)のうち33基、鉄塔組立工事は19基完了。1月より一部を除き冬季中断予定。白樺峠近傍の工事を10月末まで制限し、11月より再開した。 [工事状況] ・7・8工区 工事中 47基 ・9工区 工事中 23基	1月より大部分の箇所でも冬季中断中。但し、朝日村の一部では基礎工事や工事個所の仮設工事を実施。冬季中断中の箇所でも3月上旬より除雪を開始し、4月上旬より工事再開予定。 [工事状況] ・7・8工区 冬季中断 ・9工区 工事中 4基
年 度	令和元年度				令和2年度			
回 数	第9回報告	第10回報告	第11回報告	第12回報告	第13回報告	第14回報告	第15回報告	第16回報告
報告対象期	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
実施状況	4月上旬より冬季工事中断から工事再開。実施内容は主に仮設工事、基礎工事、鉄塔組立工事が中心。施工全般制限箇所においては、現地の繁殖状況を見極め、制限解除の検討を実施。 [工事状況] ・7・8工区 工事中 22基 ・9工区 工事中 5基	今四半期の実施内容は従来からの仮設工事、基礎工事、鉄塔組立工事に加え、電線の架線工事を実施。施工全般制限箇所においては、現地の繁殖状況を鑑み、施工制限を解除し、7月より施工を開始した。 [工事状況] ・7・8工区 工事中 15基 ・9工区 工事中 7基(1架線)	基礎工事については大部分が完了した。鉄塔組立工事については全体の約3/4が完了。架線工事については全体の約3割が完了した。1月より冬季中断に入るが一部では冬季中断中も工事を実施予定。 [工事状況] 7・8工区 工事中 0基 9工区 工事中 2基	松本市、山形村の工事個所の大部分の箇所でも冬季中断中。朝日村では基礎工事や鉄塔組立工事を引き続き実施。冬季中断中の箇所においては順次、除雪を開始し、4月上旬より工事再開予定。 [工事状況] ・7・8工区 冬季中断 ・9工区 工事中 6基	基礎工事および鉄塔組立工事は大部分が完了した。今後は電線の架線工事が中心になる。第2四半期までには工事の大部分が完成予定であり、平行して緑化工事等の付帯工事も実施中。 [工事状況] ・7・8工区 工事中 4架線 付帯工事 ・9工区 工事中 2基 2架線	今四半期は基礎工事および鉄塔組立工事は完了しており、電線の架線工事に着手し完了した。平行して緑化工事や付帯工事等を実施中。 [工事状況] ・7・8工区 工事中 3架線 付帯工事		

○:工事中 △:冬季中断 ●:工事完了

鉄塔番号	伐採工事	道路工事	仮設工事	基礎工事	組立工事	架線工事	仮設撤去	付帯工事	備考
125	●	—	●	●	●				
126	●	●	●	●	●	↑	↑	↑	
127	●	—	●	●	●				
128	●	●	●	●	●				
129	●	●	●	●	●				
130	●	●	●	●	●				
131	●	●	●	●	●	●	○	○	
132	●	—	●	●	●				
133	●	●	●	●	●				
134	●	—	●	●	●				
135	●	●	●	●	●	↓	↓	↓	
136	●	●	●	●	●				
137	●	●	●	●	●				
138	●	●	●	●	●				
139	●	●	●	●	●	●	●	●	
140	●	●	●	●	●				
141	●	●	●	●	●				
142	●	—	●	●	●				
143	●	●	●	●	●	↓	↓	↓	
144	●	●	●	●	●				
145	●	●	●	●	●				
146	●	●	●	●	●	●	○	○	
147	●	●	●	●	●				
148	●	—	●	●	●	↓	↓	↓	
149	●	●	●	●	●				
150	●	●	●	●	●				
151	●	●	●	●	●				
152	●	●	●	●	●				
153	●	●	●	●	●	●	●	●	

○:工事中 △:冬季中断 ●:工事完了

鉄塔番号	伐採工事	道路工事	仮設工事	基礎工事	組立工事	架線工事	仮設撤去	付帯工事	備考
154	●	●	●	●	●				
155	●	●	●	●	●				
156	●	●	●	●	●				
157	●	●	●	●	●				
158	●	●	●	●	●	↓	↓	↓	
159	●	●	●	●	●				
160	●	-	●	●	●				
161	●	●	●	●	●	●	○	○	
162	●	●	●	●	●				
163	●	●	●	●	●				
164	●	●	●	●	●				
165	●	●	●	●	●	↓	↓	↓	
166	●	●	●	●	●				
167	●	●	●	●	●				
168	●	●	●	●	●	●	○	○	
169	●	●	●	●	●				
170	●	●	●	●	●				
171	●	●	●	●	●				
172						↓	↓	↓	

○:工事中 △:冬季中断 ●:工事完了

鉄塔番号	伐採工事	道路工事	仮設工事	基礎工事	組立工事	架線工事	仮設撤去	付帯工事	備考
172	●	●	●	●	●	↑	↑	↑	
173	●	●	●	●	●	↑	↑	↑	
174	●	●	●	●	●	↑	↑	↑	
175	●	●	●	●	●	↑	↑	↑	
176	●	●	●	●	●	↑	↑	↑	
177	●	—	●	●	●	↑	↑	↑	
178	●	—	●	●	●	↑	↑	↑	
179	●	—	●	●	●	●	●	●	
180	●	—	●	●	●	↑	↑	↑	
181	●	—	●	●	●	↑	↑	↑	
182	●	—	●	●	●	↑	↑	↑	
183	●	—	●	●	●	↑	↑	↑	
184	●	●	●	●	●	↑	↑	↑	
185	●	—	●	●	●	↓	↓	↓	
186	●	●	●	●	●	↑	↑	↑	
187	●	●	●	●	●	↑	↑	↑	
188	●	●	●	●	○	↑	↑	↑	
189	●	—	●	●	●	↑	↑	↑	
190	●	—	●	●	●	●	○	○	
191	●	—	●	●	●	↑	↑	↑	
192	●	●	●	●	●	↑	↑	↑	
193	●	●	●	●	●	↑	↑	↑	
194	—	—	●	●	●	↑	↑	↑	
195	—	—	●	●	●	↓	↓	↓	
196	—	—	●	●	●	●	○	○	
197	—	—	●	●	●	●	○	○	